

小箱展開図作成 Ver4.1 取扱説明書

この度は、フリーウェアソフト「小箱展開図作成 Ver4.1」をダウンロードして頂き、ありがとうございます。

このソフトは、Windows10/11 でご使用ください。

A4 サイズの厚紙(ハガキの厚さ)に印刷できるカラープリンターが必要です。

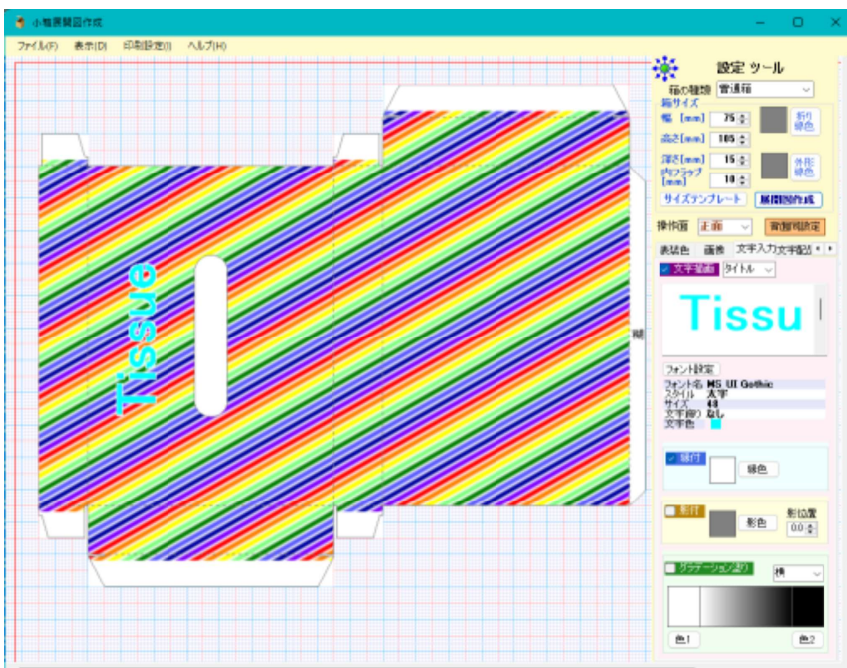
このソフトは、自由な小箱のサイズで(展開図の最大サイズはA4用紙)小箱の展開図を印刷するソフトです。小箱の種類によっては、サイズ制限があります。

小物入れや、ペンケース、ポケットティッシュケース、プレゼント用装飾箱等が作成できます。

小箱展開図作成 Ver4.1 の特徴

- ▶ 1mm 単位で自由なサイズの小箱の展開図(最大 A4 用紙サイズまで)を作成。
- ▶ 単一色やグラデーション色(線形式、放射式、方向角度設定)で小箱の表面を着色
- ▶ 81種類+オリジナル(1)のパターンで小箱を表装(サイズ、角度変更、多色刷り可能)
- ▶ 任意の画像(絵や写真)で小箱の表面を表装(原画の縦横比で面全体に描画も可能)
画像(絵や写真)を半透明化、明度調節で、上書き文字が読み易くできます。
- ▶ 1面に2種類の色付文字、グラデーション色の文字、縁付文字、影付文字を描画できます。
- ▶ 小箱の種類は、10種類
普通箱、スリーブ箱、蓋被せ箱、屋根付箱、六角箱、分割箱、底組普通箱、
底組分割箱、ワンタッチ底普通箱、側面差込普通箱
- ▶ サイズテンプレート(箱サイズ・箱種類登録)で、リストの編集、追加が可能
- ▶ 設定ツールパネルをドラッグしてウィンドウ内自由移動、タブ形式の設定項目
- ▶ 箱の底面以外の面に17種類の窓穴を設定できます。
角穴、角丸角穴、長穴、丸穴、菱形穴、星形穴、ハート形穴、多角形穴(3~12)
窓穴は、中身のディスプレイ用、取出し用に使えます。

Ver3.6以前の小箱展開図データーは、読み込みできません。



〈項目〉 1/2

1) インストール&アンインストール

- インストール
- アンインストール

2) ソフトの使用方法

- 操作画面の説明
- メニュー

1. ファイル

- 1-1. 新規作成
- 1-2. データー開く
- 1-3. データ保存
- 1-4. 画像開く
- 1-5. 画像保存
- 1-6. 印刷プレビュー
- 1-7. 印刷
- 1-8. 終了

2. 表示

- 2-1. グリッド表示
- 2-2. 設定ツール表示

3. 印刷

- 3-1. A4サイズ用紙方向
- 3-2. 左の余白
- 3-3. 上の余白

4. ヘルプ

- 4-1. 取扱説明書
- 4-2. 工作説明書
- 4-3. バージョン情報

- 設定ツール

1. 箱の種類

- 1-1. 普通箱
- 1-2. スリーブ箱
- 1-3. 蓋被せ箱
- 1-4. 屋根付箱
- 1-5. 六角箱
- 1-6. 分割箱
- 1-7. 底組普通箱

〈項目〉 2/2

1-8. 底組分割箱

1-9. ワンタッチ底普通箱

1-10. 側面差込普通箱

2. 箱サイズ

- 2-1. 寸法について
- 2-2. サイズテンプレート

3. 表装色

- 3-1. 単一色塗り
- 3-2. パターン・模様塗り
- 3-3. グラデーション塗り

4. 面の選択

5. 画像

- 5-1. 画像読込
- 5-2. 画像回転
- 5-3. 画像移動
- 5-4. 正面・背面配置
- 5-5. 全周配置
- 5-6. 半透明
- 5-7. 明度

6. 文字入力

- 6-1. 文字入力
- 6-2. 縁付文字
- 6-3. 影付文字
- 6-4. グラデーション文字

7. 文字配置

- 7-1. 文字回転
- 7-2. 文字移動

8 窓穴開口

- 8-1. 窓穴選択
- 8-2. 窓穴移動
- 8-3. 窓穴寸法設定

3) 作者からのお願い&注意事項

1) インストール&アンインストール

➤インストール

ソフトを使用するには「DDBox.zip」を右クリックして、「すべてを展開」をクリックします。
手順に従って操作し、「DDBox」フォルダー内の「DDBox.exe」をダブルクリックしてください。
「DDBox」フォルダー内のファイルを移動したり、削除しないで下さい。

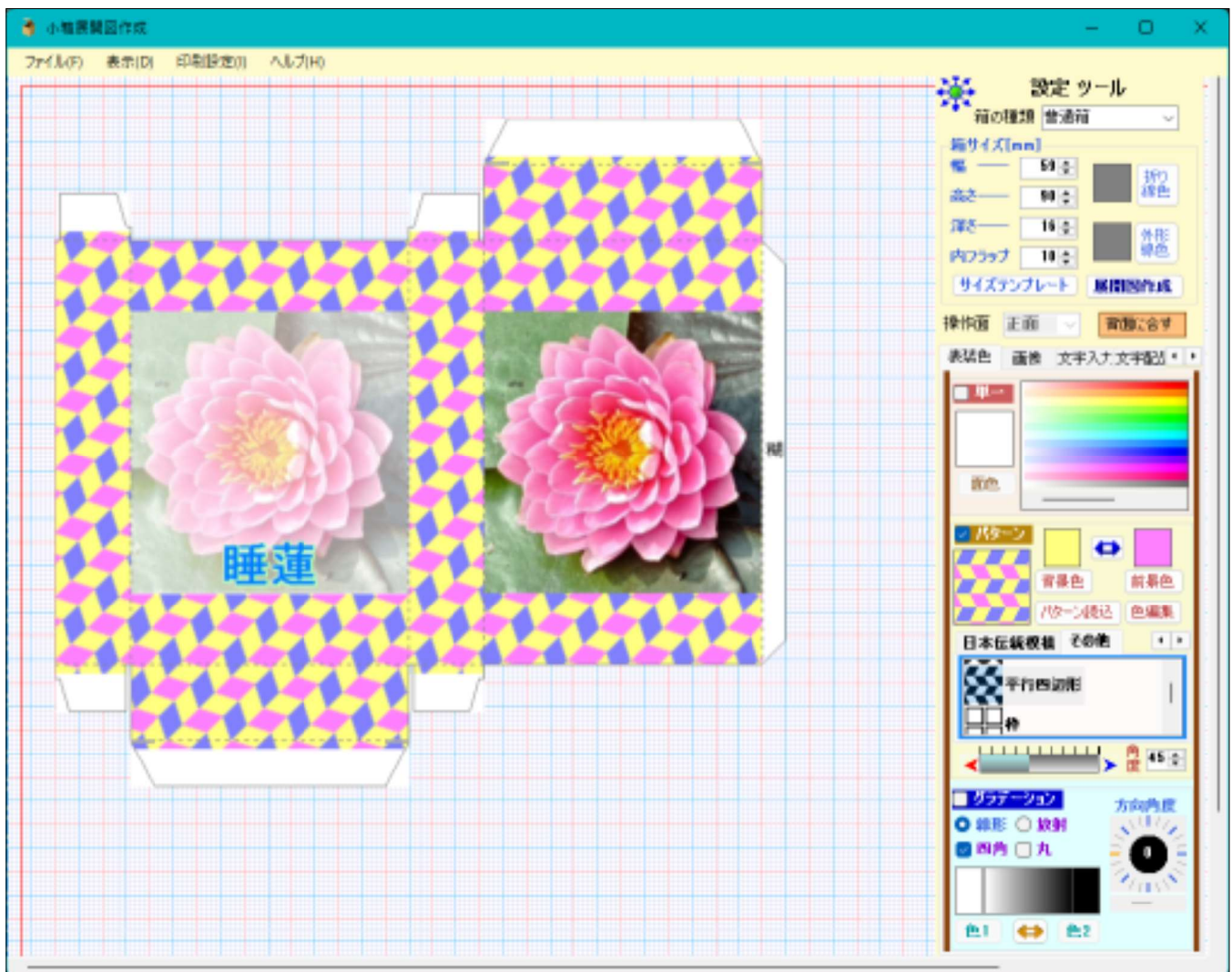
➤アンインストール(パソコンからソフトを完全削除)


ソフトをアンインストールするには、「DDBox.zip」「DDBox」フォルダーを削除してください。

2) ソフトの使用方法

■操作画面の説明

「DDBox」フォルダー内の「DDBox.exe」をダブルクリックします。



- 最初に展開図作図領域に描かれている展開図は、幅20mm×高さ20mm×深さ20mmのサイズの普通箱です。上記は、展開図作成途中の画面
- 画面上の「メニュー」には、デザインした箱のデーターを保存したり、印刷する設定があります。
- 画面右の「設定ツール」のパネル上部は、箱の設定を変更する数値入力や作成ボタンなどがあります。
- 「設定ツール」下部は、箱の表装色や、各面の文字入力を設定します。
- 設定ツール最上部  は、クリックしながらドラッグすると、「設定ツール」自体をウィンドウ内限定で自由に移動できます。

メニュー

1. ファイル

1-1. 新規作成

各設定をソフト起動時の状態に初期化します。
最初からやり直したい時に便利です。

1-2. データー開く (拡張子「.ubx」)

下記で保存した小箱の展開図データーを読み込みます。

1-3. データー保存 (拡張子「.ubx」)

現在の小箱の展開図データーを名前を付けて保存します。

パターン・模様は、単独3色刷りまで対応します。

多ヶ所3色刷り、多色刷りは、画像保存してください。

1-4. 画像開く (拡張子 .png)

下記で保存した画像を開きます。
印刷専用です。データーに反映しません。

1-5. 画像保存 (拡張子 .png)

現在の展開図を画像保存します。
ピング形式で保存します。

1-6. 印刷プレビュー

右側全体図表示左横のバーを上下すると、
印刷内容を拡大・縮小して見れます。
プリンター設定内容は、現在の設定を表示
しています。印刷部数は、変更できます。
その他詳細設定は、「印刷」画面表示の
プロパティ (下記参照) から設定します。

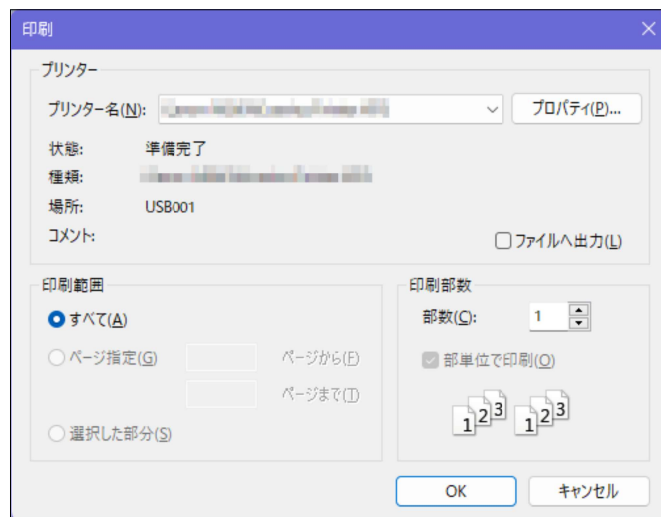
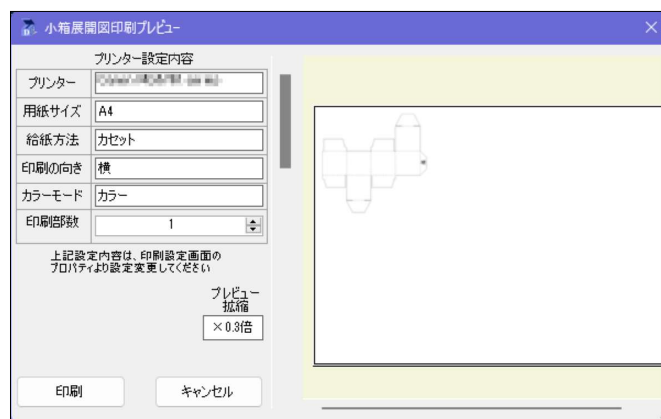
1-7. 印刷

小箱展開図を印刷します。
印刷品質等詳細設定は、プロパティー
ボタンをクリックして、プリンター設定
してください。

1-8. 終了

「小箱展開図作成」ソフトを終了します。

	新規作成(N)	Ctrl+N
	データー開く(O)	Ctrl+O
	データー保存(S)	Ctrl+S
	画像開く(A)	Ctrl+A
	画像保存(F)	Ctrl+F
	印刷プレビュー(V)	Ctrl+V
	印刷(P)	Ctrl+P
	終了(E)	Ctrl+E



2. 表示

2-1. グリッド表示

「グリッド表示」をクリックして、チェックマークを消すと
展開図表示領域のグリッドを表示しません。

グリッドを表示する場合は、クリックして、☒チェックマークを付けてください。

赤線：10mm単位毎、**青線**：5mm単位毎、**グレー線**：1mm毎にグリッド線が表示されます。

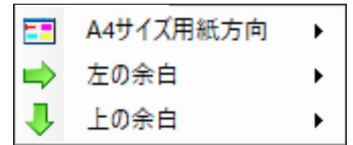
2-2. 設定ツール表示

「設定ツール表示」をクリックし、チェックマークを消すと設定ツールを表示しません。
設定ツールを表示する場合は、クリックして、☒チェックマークを付けてください。

<input checked="" type="checkbox"/>	グリッド表示(G)	Ctrl+G
<input checked="" type="checkbox"/>	設定ツール表示(T)	Ctrl+T

3. 印刷設定

赤枠の最大印刷可能領域から展開図がはみ出ないように箱のサイズを設定してください。



3-1. A4サイズ用紙方向

印刷時の用紙の方向を設定します。最初は、「横」の設定になっています。

側面差込普通箱は、「縦」に設定した方が大きい箱サイズにできます。

「縦」をクリックし、☒チェックマークが付くと、印刷時の用紙の方向は縦に設定されます。

「横」をクリックし、☒チェックマークが付くと、印刷時の用紙の方向は横に設定されます。

3-2. 左の余白

展開図を用紙に印刷する時の左余白を設定します。

最初は10mmの設定になっています。

入力ボックスの値を変えると、その余白になります。

3-3. 上の余白

展開図を用紙に印刷する時の上余白を設定します。

最初は10mmの設定になっています。

入力ボックスの値を変えると、その余白になります

4. ヘルプ

4-1. 取扱説明書

このPDF説明書を表示します。

4-2. 工作説明書


展開図から箱に工作するPDF説明書を表示します。

4-3. バージョン情報

このソフトのバージョン情報を表示します。



設定ツール

「設定ツール」の左上  をクリックしながらドラッグすると、ウィンドウ内の自由な位置に設定ツールを移動できます。

1. 箱の種類 [次頁写真参照](#)

設定ツール右上の「箱の種類」の「**V**」をクリックし、下記の箱の種類を選択します。

1-1. 普通箱

普通の箱です。(ソフト起動時の設定)

1-2. スリーブ箱

マッチ箱の様に、中箱を指で押し出して開く箱です。

1-3. 蓋被せ箱

蓋を被せる箱です。硯箱のようにセット物を入れるのに適しています。

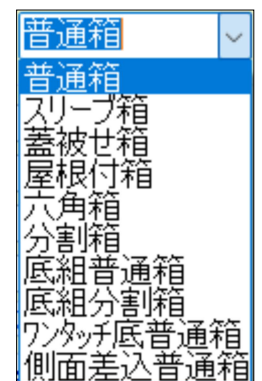
1-4. 屋根付箱

三角屋根の付いた家形の箱です。屋根の片側が蓋になっています。

1-5. 六角箱

六角形の箱は、筒状の物やペンの様に細い物を入れるのに適しています。

内径[mm]は、辺に接する円の直径です。



1-6. 分割箱

箱の上部が分割して開く箱です。細長い物、スティック(棒状)を入れるのに適しています。高さ35mm以上にしてください。

1-7. 底組普通箱

底の部分を縦横に折り込んで組み合わせ、底を閉じた普通箱です。

1-8. 底組分割箱

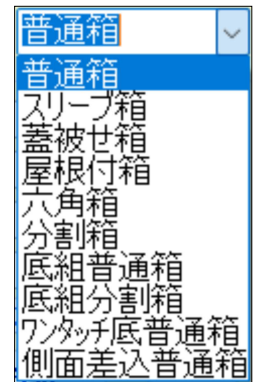
底の部分を縦横に折り込んで組み合わせ、底を閉じた分割箱です。
高さ35mm以上要

1-9. ワンタッチ底普通箱

潰した箱を膨らませると底が組みあがる普通箱です。深さ20mm以上要

1-10. 側面差込普通箱

糊付不要・組み立てるだけで完成する箱です。
蓋の突起を側面に差し込みます。深さ20mm以上要

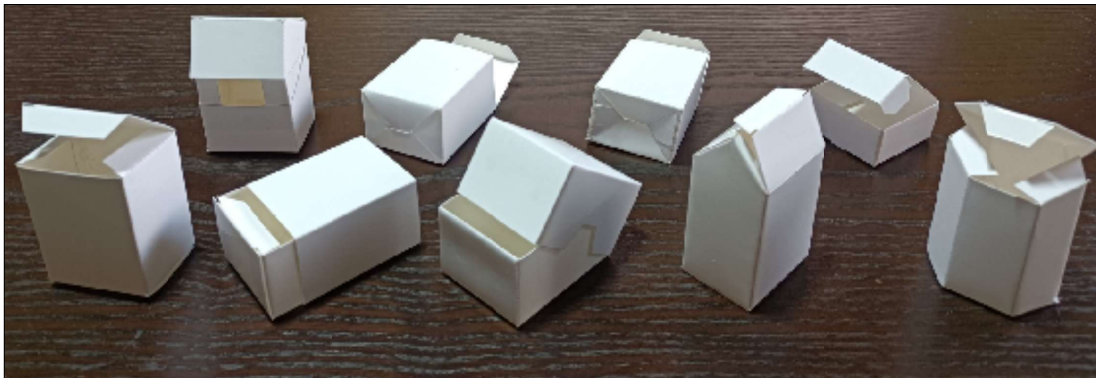


1-6

1-7

1-9

1-10



1-1

1-2

1-3

1-4

1-5

2. 箱サイズ

2-1. 寸法について

▶「箱サイズ」の各入力ボックスに、箱の幅、高さ、深さ、内フラップ(単位mm)を入力します。

▶数字をマウスでクリックしてからキー入力するか、右のアップダウンボタンをマウスでクリックして数字を変更して入力します。

▶最小の小箱サイズは幅20mm、高さ20mm、深さ20mmです。

内フラップは、箱側面から内側に曲げる耳の部分です。

入力ボックスの最大値は、幅150mm、高さ250mm、深さ150mmです。

▶箱の種類によって最小サイズが異なります。

全ての最大サイズでは、展開図がA4用紙に収まりません。

▶組底普通箱、組底分割箱の深さは、15mm以上にしてください。

▶入力が終了したら「展開図作成」ボタンをクリックします。

▶外形線、折り線の色は、グレーです。「色の設定」で線色を変更できます。(次頁参照)
黒にすると、切断部分や折り線が目立ち過ぎます。

▶よく使う箱サイズは、名前を付けて「サイズテンプレート」に登録できます。(次頁参照)

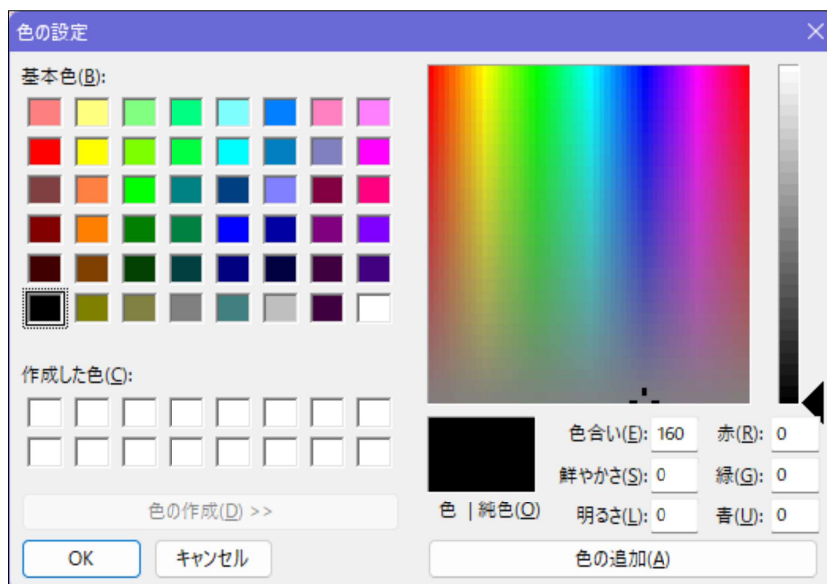
2-2. サイズテンプレート

- ▶ サイズテンプレートの行を選択することで、CDやフロッピーディスク等の箱サイズを簡単に設定できます。「サイズテンプレート」ボタンをクリックします。
下記の画面が表示されます。
- ▶ 「名前」の中から作りたい箱の行をクリックし、「決定」ボタンをクリックします。
「展開図作成」ボタンをクリックします。
- ▶ サイズテンプレートの値や箱の種類を変更するには、「▼追加編集を表示」ボタンをクリックします。
- ▶ リスト内の編集したい行をクリックします。下に表示された値を変更します。
- ▶ 「編集」ボタンをクリックします。
- ▶ 名前を変更した場合は、「編集」ボタンで変更できません。
「追加」ボタンをクリックしてください。
- ▶ サイズテンプレートのリストをソフトインストール時の値に戻したい場合は、「初期化」ボタンを押します。但し、ユーザーが追加したデータは、消えてしまいます。



——共通事項 色選択——

- ▶ 「〇〇色」のボタンをクリックすると、下記の「色の設定」画面が表示されます。
- ▶ 設定したい色をクリックして、「OK」ボタンをクリックすると、その色に変更できます。
- ▶ 虹色部分をクリックして、右端の縦バー部分の「◀」をマウスでドラッグして上下することでも色を選択することができます。



3. 表装色（全面共通）

3-1. 単一色塗り




- ▶ 「単一」をクリックして☑チェックマークを付けます。
- ▶ 「面色」ボタンをクリックします。
- ▶ 「色の設定」画面で好きな色を選択して、「OK」をクリックします。
- ▶ 右側「簡易パレット」をクリックしても色設定できます。
- ▶ 「展開図作成」ボタンをクリックします。

3-2. パターン塗り

- ▶ **81種類**のパターン（縦線や網目等）+自作1種類で箱に模様を着けます。ハッチパターン・日本伝統模様・その他
- ▶ 「パターン」をクリックして☑チェックマークを付けます。パターン名を選択し、クリックします。左上に選択したパターンが表示されます。
- ▶ パターン・模様の色は、「背景色」と「前景色」のボタンをクリックして「色の設定」で設定します。
- ▶ 下の左右ボタンでパターン・模様サイズの拡張ができます。角度(90～-90°)を入力するとパターン・模様が回転します。
+左・-右回転



- ▶ 「その他」一覧最下部に「ユーザー設定」があります。
「パターン読込」のボタンをクリックすると、「パターン画像を開く」画面が表示されます。パターンにしたい画像ファイルを選択して「OK」ボタンをクリックします。
カラー画像は、小さいサイズにしてください。パターンサイズ、角度を変更可能です。
64ドットより大きい画像は、64×64ドット以下に自動変換します。
読込んだパターン画像ファイルを別のフォルダーに移動しないでください。
- ▶ 「展開図作成」ボタンをクリックします。その選択画像が小箱の展開図全体にパターンとして表示されます。

※パターン・模様の多色刷り※ ペイント  線  元に戻す 

- ▶ 多色刷りするには、「色編集」ボタンをクリックします。
「色編集」のボタンをクリックすると、右記の「パターン色編集ツール」が表示されます。
左に現在選択中のパターンが拡大表示されます。
「塗色」ボタンをクリックして、変更する色を設定します。
- ▶ 「ペイント」ボタンをクリックします。
パターン拡大表示部の変えたい色部分をクリックします。




- ▶ 「線」ボタンをクリックします。
左のパターン表示部の線の引き始め箇所をクリックします。
オレンジガイド線が表示されます。線の引き終わり箇所をクリックすると、塗色の線が描けます。
- ▶ 「元に戻す」ボタンをクリックすると、一つ前にだけ戻せます。
- ▶ 「OK」ボタンをクリックすると、「パターン色編集ツール」を閉じます。
- ▶ 画像サイズは、パターンや模様によって大きさが異なります。

3-3. グラデーション塗り

- ▶ 箱の展開図を2色の設定によるグラデーション色で塗ります。
- ▶ 「グラデーション」をクリックして、☒チェックマークを付けます。

- ▶ 「色1」「色2」のボタンをクリックして、「色の設定」で好きな色を選択して、「OK」をクリックします。

中央の  ボタンを押すと、色1と色2の色が入れ替わります。

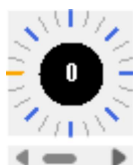
- ▶ 真中のパネルに、そのグラデーション色が表示されます。
- ▶ 「展開図作成」ボタンをクリックします。
- ▶ 「○線形」は、端から反対の端へグラデーション塗りします。
- ▶ 「○放射」は、中央から上下左右端へグラデーション塗りします。
- ▶ グラデーションの方向角度は、角度を設定して決定します。

右記の角度目盛をクリックして角度を選択します。

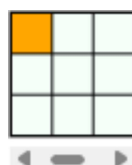
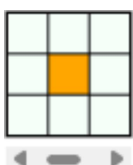
下の ◀ ▶ ボタンをクリックしても選択できます。



線形



放射



- ▶ 上記は、「放射」の「四角」ですが、「丸」の場合は、円形に放射となります。

4. 編集操作面の選択

- ▶ 画像や文字を箱の展開図に入力・設定する場合、どの面に入力設定するのかを選択します。

- ▶ 「画像」又は、「文字入力」をクリックして、☒チェックマークを付けます。

- ▶ 「操作面」の右側「V」をクリックして、編集面を選択してください。

正面、背面、左側面、右側面、上面、下面から選択します。

- ▶ 右側の「○面同設定」ボタンをクリックすると反対面と表装を同一に合せることができます。



5. 画像(画像描画は、元の画像比率のみ)

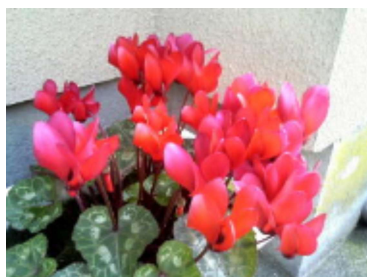
- ▶ 「画像」のタブをクリックします。
- ▶ 「画像描画」をクリックし、☒チェックマークを付けます。
- ▶ 面の画像貼付を取り消したい場合は、「画像描画」をクリックし、☐チェックマークを外します。



通常



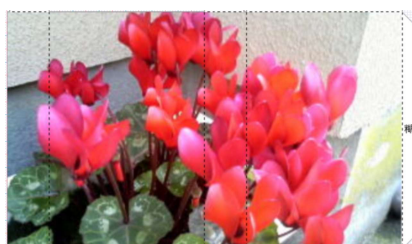
通常左向き



元画像



カット位置は左右に移動可能
正面・背面配置



カット位置は上下に移動可能
全周配置(左側面～背面)



5-1. 画像読み込み

- ▶ 画像を付けたい面を「操作面」の右の「V」をクリックして、選択します。
- ▶ 「画像読込」ボタンをクリックします。
- ▶ 「画像を開く」画面が表示されます。
- ▶ 「ファイルの種類」から画像を選択します。
- ▶ 使用できる画像種類はBMP、JPEG、GIF、PNG、TIFF、WMF、EMFです。
- ▶ 目的のファイルを選択して、「開く」ボタンをクリックします。

読込んだ画像ファイルを別のフォルダーに移動しないでください。

- ▶ 画像イメージに目的のファイルの画像が描かれます。
- ▶ 「展開図作成」ボタンをクリックします。

5-2. 画像回転(通常)

- ▶ 画像を回転させる時には「画像回転」の回転したい方向矢印をクリックします。
- ▶ 「普通」→回転無「左向」→左90°回転、「右向」→右90°回転、「下向」→180°回転
- ▶ 「展開図作成」ボタンをクリックします。

5-3. 画像移動(通常)

- ▶ 画像を面の各辺に移動する場合は、「画像移動」の移動したい方向の矢印をクリックします。
- ▶ 通常は画像を面の中心に貼り付けます。上下又は、左右に空白ができます。
- ▶ 空白方向(上下左右)に画像を移動して貼り付けたい場合は、矢印ボタンをクリックします。
- ▶ 例えば、面の中心ではなく上に移動したい場合は、上の矢印ボタンをクリックします。
- ▶ ●ボタンをクリックすると、センターに移動します。
- ▶ 「展開図作成」ボタンをクリックします。

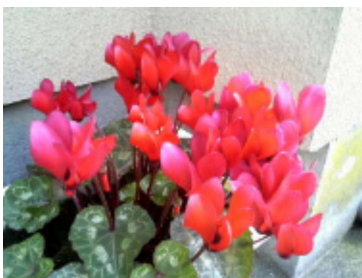
5-4. 正面・背面配置(画像回転不可)

- ▶ 正面又は背面に元の画像の中央部分を全体に描画します。
- ▶ 「画像描画」をクリックして、☒チェックマークを付けます。
- ▶ 「正面・背面配置」をクリックして、☒チェックマークを付けます。
- ▶ 「画像読込」ボタンをクリック「画像を開く」画面が表示されます。
- ▶ 「ファイルの種類」から画像を選択します。
- ▶ 使用できる画像種類はBMP、JPEG、GIF、PNG、TIFF、WMF、EMFです。
目的のファイルを選択して、「開く」ボタンをクリックします。
- ▶ カット位置を矢印ボタンで左右に移動できます。▶
 - ボタンをクリックすると、センターに移動します。
- ▶ 「カット位置移動[mm]」で値を変更し1~10mm単位で移動できます。
- ▶ 操作面が正面・背面以外の場合、操作面は、正面に切り換わります。
- ▶ 元画像のサイズと箱サイズの兼ね合いにより、左右に空白が出る場合があります。



5-5. 全周配置(画像回転不可)

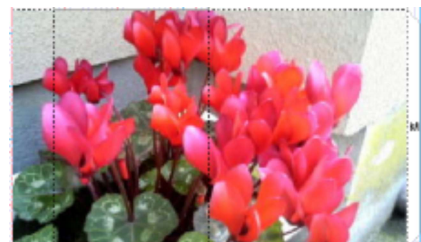
- ▶ 全周(左側面+正面+右側面+背面)に元の画像の中央部分を全面に渡って描画します。
- ▶ 「画像描画」をクリックして、☒チェックマークを付けます。
- ▶ 「全周配置」をクリックして、☒チェックマークを付けます。
- ▶ 「画像読込」ボタンをクリックします。「画像を開く」画面が表示されます。
「ファイルの種類」から画像を選択します。
- ▶ 使用できる画像種類はBMP、JPEG、GIF、PNG、TIFF、WMF、EMFです。
目的のファイルを選択して、「開く」ボタンをクリックします。
- ▶ カット位置を矢印ボタンで上下に移動できます。▶
 - ボタンをクリックすると、センターに移動します。
- ▶ 「カット位置移動[mm]」で値を変更して1mm~10mm単位で移動できます。
- ▶ 操作面は、正面に切り換わります。
- ▶ 元画像のサイズと箱サイズの兼ね合いにより、上下に空白が出る場合があります。



元画像



正面・背面配置



全周(左側面~背面)配置

5-6. 半透明

- ▶ 画像を半透明にし淡くします。「半透明」をクリックして、☒チェックマークを付けます。
- ▶ 右側の左右ボタンをクリックして半透明度を設定し「展開図作成」ボタンをクリックします。

5-7. 明度(%)

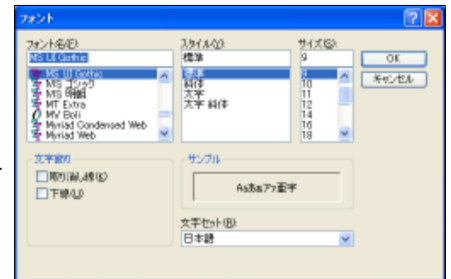
- ▶ 画像の明るさを調整します。「明度」をクリックして、☒チェックマークを付けます。
- ▶ 下の左右ボタンをクリックして画像明るさを設定し「展開図作成」ボタンをクリックします。
0%バー中心：元の明るさ、-100%左側：元より暗く、100%右側：元より明るく

6. 文字入力

- ▶ 小箱の展開図の各面それぞれに単色文字、グラデーション色文字、影付文字、縁付文字が設定できます。
- ▶ 単色、影付、縁付の複合、グラデーション色、影付、縁付の複合でも設定できます。
- ▶ 文字を記入したい面を「操作面」の右の「**V**」をクリックして、選択します。
- ▶ 「文字描画」をクリックし、☒チェックマークを付けます。
- ▶ 「フォント設定」ボタンを押して文字の種類、大きさや色を設定します。
起動時は、「MS UI Gothic」の9ポイントです。

6-1. 文字入力

- ▶ 「文字入力欄」に描きたい文字を入力します。
タイトル文、本文の2種類が有り、それぞれ別のフォントを設定できます。文字入力欄の文字サイズは、変わりません。
- ▶ 「展開図作成」ボタンをクリックすると、描画されます。



6-2. 縁付文字

- ▶ 「縁付」をクリックして、☒チェックマークを付けます。
- ▶ 「色設定」をクリックして、縁色を決定します。
- ▶ 「展開図作成」ボタンをクリックすると、描画されます。

装飾文字

6-3. 影付文字

- ▶ 「影付」をクリックして、☒チェックマークを付けます。
- ▶ 「色設定」をクリックして影色を決定します。
- ▶ 「展開図作成」ボタンをクリックすると、描画されます。

装飾文字

6-4. グラデーション文字

- ▶ 「グラデーション塗り」をクリックして☒チェックマークを付けます。
- ▶ 「色1設定」ボタンをクリックして、左の色を決定します。
- ▶ 「色2設定」ボタンをクリックして、右の色を決定します。
- ▶ 「方向」の「**V**」をクリックして、グラデーションの方向を設定します。
「横」：左から右へグラデーション「縦」：上から下へグラデーション
「斜左上」：左上から右下へグラデーション「斜右上」：右上から左下へグラデーション



装飾文字

7. 文字配置

- ▶ 文字を回転させて描画できます。
- ▶ 文字を-20～20mmの範囲で最小0.5mmずつ上下左右に移動して、位置調節できます。

7-1. 文字回転

- ▶ 画像を回転させる時には「画像回転」の回転したい方向矢印をクリックします。
- ▶ 「普通」→回転なし、「左向」→左90° 回転、「右向」→右90° 回転、「下向」→180° 回転
- ▶ 「展開図作成」ボタンをクリックします。

7-2. 文字移動

- ▶ 文字を面の各辺に移動する場合は「文字移動」の移動したい方向の矢印ボタンをクリックします。
- ▶ 通常は文字を面の中心に貼り付けます。
- ▶ 例えば、面中心ではなく上に移動したい場合は、上の矢印ボタンをクリックします。
- ▶ 文字位置を微動したい場合は「文字移動」の入力ボックス(左右方向、上下方向)の値の右の「▲」「▼」をクリックして、変更します。-20mm～+20mmの範囲で0.5mm毎に移動します。
- ▶ 「展開図作成」ボタンをクリックします。



文字イメージの背景色を変更できます。

通常は、「白」ですが、「黒」をクリックして、☒チェックマークにすると黒にできます。

8. 窓穴開口

箱の底面以外の面に17種類の窓穴を設定できます。中身をディスプレイしたり、中身を取り出す時(箱ティッシュ等)に利用します。

8-1. 窓穴選択

- ▶ 「文字配置」の右側の「▶」→をクリックして「窓穴開口」タブをクリックします。
- ▶ 「編集操作面」を選択して「窓穴開口取消」の☑チェックマークを付けます。開きたい窓の形をクリックし、値を入力します。
- ▶ 「展開図作成」ボタンをクリックすると、その面に窓穴が描かれます。
- ▶ 最大の窓穴サイズは各面の端から5mm内側に入った大きさです。入力した値が大きい場合、強制的に数値が変更されます。

8-2. 窓穴移動

- ▶ 「窓穴移動」矢印をクリックすると、面の端から5mmの位置に移動します。

8-3. 窓穴寸法設定

▶ 角穴の値入力

「角丸■●窓穴」をクリックして、青丸を付けます。

箱のサイズを考慮して、「幅」「高さ」の値を入力します。

▶ 角丸角穴の値入力

上記の他に角の丸みの「半径」の値を入力します。

▶ 長穴の値入力

上記の幅(又は高さ)の半分の値を「半径」に入力します。

▶ 丸穴の値入力

上記の「幅、高さ」の値を丸穴の直径の値として入力します。

「半径」に丸穴の半径を入力します。

▶ 菱形穴の値入力

「菱形窓穴」をクリックして、青丸を付けます。

箱のサイズを考慮して、「幅」「高さ」の値を入力します。

▶ 星形窓穴の値入力

「★形窓穴」をクリックして、青丸を付けます。

箱のサイズを考慮して、「半径」の値を入力します。

▶ ハート形窓穴の値入力

「♡形窓穴」をクリックして、青丸を付けます。

箱のサイズを考慮して、「半径」の値を入力します。

▶ 正多角形窓穴の値入力

「正多角形」をクリックして、青丸を付けます。

箱のサイズを考慮して、「半径」の値を入力します。

何角形かにより、「辺の数」を入力します。

辺の数は、3～12から選べます。

- ▶ システム上、窓穴の中に、線等が表示されることがあります



9. 作者からのお願い&注意事項

➤ リニューアルにより、バージョン番号Ver3.6以前で保存したデータは、読込めません。

➤ オリジナルのパターン・模様画像を作成するには、
「フルカラードットペイント」フリーソフト ベクター(株)にあります。

➤ 高度な文字画像を作成するには、
「装飾文字デザイン」フリーソフト ベクター(株)にあります。

作成した小箱の取り扱いについて

- 重量物は、入れないで下さい。
底が抜けて、中身が破損する可能性があります。
- 飲食物は、直接入れないでください。
衛生上良くありません。
- 精密機器(部品も含む)を入れないで下さい。
落としたり、衝撃を与えると故障や破損します。
- 引火物や危険物を入れないでください。

- このソフトは、フリーソフトウェアです。
- 著作権は、私(HotCakeSoft)にあります。
- コピーは自由ですが、大量配布や雑誌での配布の場合、私の許可が必要です。
- 改変や一部のコピーをしないでください。
- このソフトウェアをパーソナルコンピューターへのインストールやその後、使用することによって生じるいかなる損害、障害、事故に対して私は、責任を負いません。

Copyright © 2026/2

著作者：HotCakeSoft

Ver3.5 ワンタッチ底普通箱、側面差込普通箱を追加 10種類の箱になりました。

グラデーション塗り：面ごとに塗り方向変更(不具合修正)

斜め右上からのグラデーション追加、取扱説明書を刷新

ソフト名変更 DDBox→小箱展開図作成、不具合修正

Ver3.6 パターンの種類を増やした。パターンの整理、形状修正

パターンの大きさを変更できるようにした。

不具合修正

Ver4.0 パターン・模様リニューアル&多色刷り可能、グラデーション方向角度増、放射式追加、

画像をカットして、面に貼付け機能追加、画像を淡くする機能追加、

小箱展開図を画像保存する機能追加

Ver4.1 「白背景」を明度調節に変更、不具合修正